

## GIGAスクール構想

# 1人1台の端末で、 ぐんぐん学ぶ

横浜市におけるGIGAスクール構想に基づき、市立の小・中学校、義務教育学校、特別支援学校(小・中学部)の児童生徒に1人1台の端末を整備しました。あわせて学校に整備した高速大容量の通信ネットワークに接続し、学校ごとに順次、利用が始まっています。

今後は、一人ひとりが自分のペースで必要な情報を集めて活用する学習や、インターネットを通じた社会と繋がる交流など、さまざまな場面で活用を広げ、豊かな学びを実現していきます。



▲タブレットを使った授業の様子

### GIGAスクール構想

文部科学省が提唱した「児童生徒向けの1人1台端末と、高速大容量の



通信ネットワークを一体的に整備することで、多様な子どもたちを誰一人取り残すことなく、公正に個別最適化された学びを全国の学校現場で持続的に実現させる」ことを目指した構想。横浜市では、2020年9月に「横浜市におけるGIGAスクール構想」を策定。

### 小・中学校への

取材記事は  
こちらから

Plus<sup>+</sup>



【問合せ】教育委員会事務局小中学校企画課情報教育担当

☎314-1316 📠314-1318

## 同和問題(部落差別)

### 偏見や思い込みと向き合ってみませんか

日ごろ親しく付き合っている人が同和地区出身だと分かった時、「これまでと同じ」「表面的には付き合いが、できるだけ付き合いを避けていく」「付き合いをやめてしまう」、あなたはどうしますか。横浜市が行った人権に関する市民意識調査では、回答者のおよそ1割の人が付き合いを避けたり、やめたり、付き合い方を変えると答えています。

日本には、「同和地区」または「被差別部落」と言われる特定の地域の出身であることや、その地域に住んでいることなどを理由とする偏見・差別が残っています。周りから結婚を反対される、望んだ職業に就くことができない、身元調べを目的に戸籍関係書類を不正に取得される、偏見に根ざしたインターネット・SNSへの書き込みがされるなど、人権侵害が後を絶ちません。

もし、人の評価や人との付き合い方が、出身地やどこに住んでいるかで決まるとしたら、あなたはどう感じますか。「どこで生まれようが、どこに住んでいようが、同じ人間だ。」と心から言えますか。

人は、一人ひとり多様な個性と豊かな可能性を有しています。全ての人が、日々の生活の中で互いに人権を尊重し合い、ともに生きる社会を目指し、いま一度、あなたの中にある偏見や思い込みと向き合ってみてください。

【問合せ】市民局人権課 ☎671-2718 📠681-5453